

さとしゅう

議会だより

No.96
2019.5.1



岡山県 里庄町議会



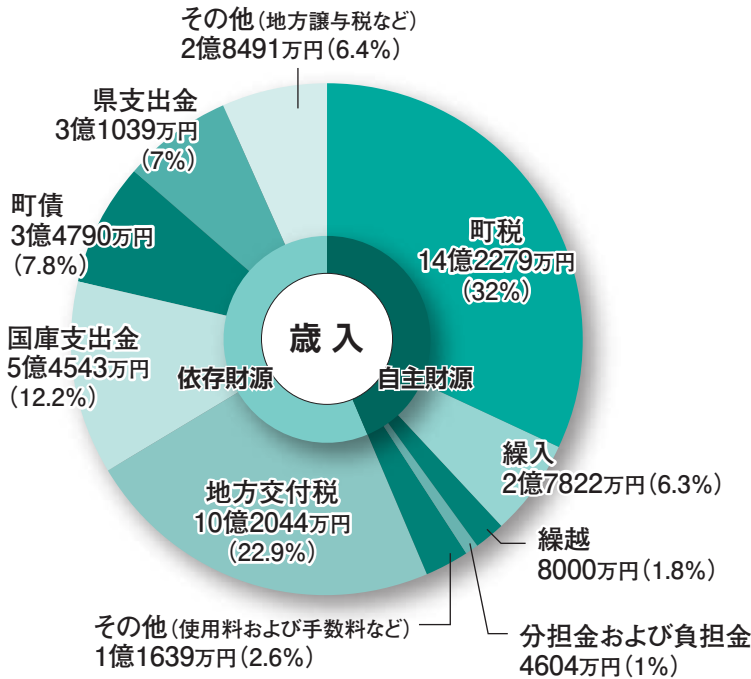
ほくわたし何組かな？

- 一般会計当初予算は修正可決 (3)
- 新年度の主な事業..... (5)
- 請願・陳情は採択ならず (13)
- 町政を問う！（5人が登壇） (16)
- シリーズ“地域の子どもたち”（津江子供会） (22)

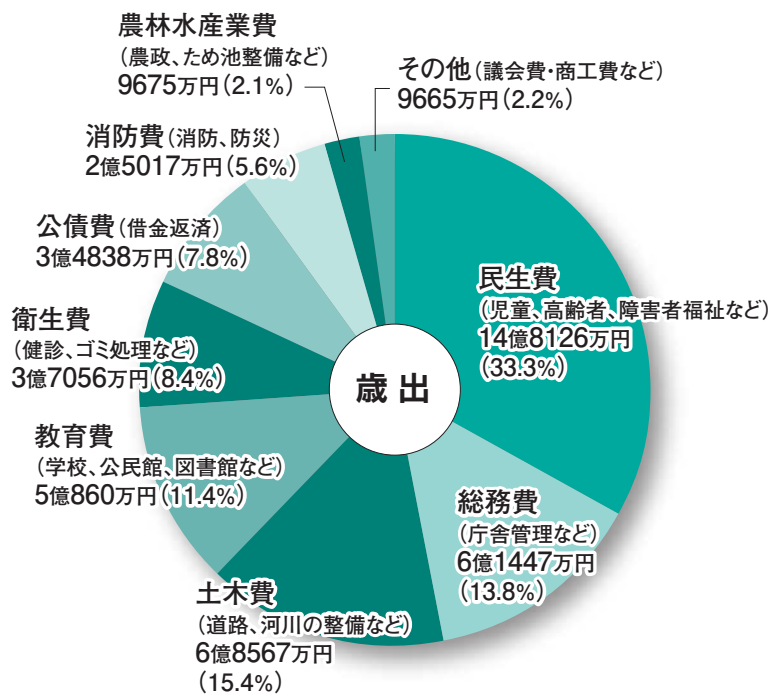
修正後可決

可決しました。

歳入総額 44億5251万円



歳出総額 44億5251万円



3月 定例会

平成31年第1回定例会は、3月4日から15日までの会期で行われました。議案は、平成31年度当初予算9議案、平成30年度補正予算6議案、条例の制定・一部改正・廃止7議案、里庄町道路線の認定2件(うち1件は撤回)、請願1件、陳情4件が上程されました。このうち平成31年度一般会計予算は、予算決算委員会で否決され、本会議で修正案が可決されました。その他の議案はすべて原案どおり可決・認定されました。

なお、一般質問は、5人の議員が登壇し、町の姿勢や考えを問いただしました。

平成31年度
当初予算

一般会計

予算決算委員会で否決された一般会計は最終日修正され
その他会計は全会一致で原案可決しました。

修正内容

- ◆ 駅前広場測量設計
平成31年度は中止 ————— △300万円に
- ◆ 各種検診の無料
70歳以上→65歳以上で維持 ——— 67.1万円
- ◆ 火葬場使用料助成
助成金を継続 ————— 98.9万円

修正賛成！

大きな事業は見直せ

高田卓司議員

駅前が危険なら駅西の駐車場を利用すれば混雑緩和できる。

高齢者、障害者、子育てをする人にできるだけ手を差し伸べ、大きな事業で億単位のお金がある事業は見直すべき。

原案賛成！

町民も理解できると判断

小野光章議員

8つの基本目標を軸に、しっかり予算組みされている。

限りある財源で事業を行うので、減額を含め我慢する部分もあるが、町民の声をしっかり反映しているもので町民も理解できる範囲と判断した。

修正賛成！

引き上げに反対

仁科英磨議員

各種検診の個人負担の無料化を70歳から引き上げる事に反対。

駅前整備は立ち止まりこれ以上この調整費、設計費にお金をつぎ込むのではなく、今までの結果の中で考えるべき。

原案賛成！

ベストな予算

仁科千鶴子議員

ベストな予算で原案に賛成。

駅前広場測量設計は、議会も認め1400万円を投入。成果を得ず無駄にする。

また1人2人の少数意見で修正すべきでない。議会は公平、公正で民主的であるべき。よってこの修正案に反対する。



満開の桜の下でのグラウンドゴルフ

事業!

こんなことを行います。

障害者福祉関係 2億6698万円

障がい者の福祉向上のため医療費の助成や各種サービスの提供を行います。

高齢者福祉関係

百歳長寿祝い金 25万円
敬老会記念品 123万円
配食サービス 140万円
敬老会演芸委託 70万円
高齢者タクシー料金助成 630万円
などを実施します。

小児医療費補助 5654万円

15歳以下を対象に、医療費の全額補助をします。

各種検診補助

各種がん検診 2095万円
腹部超音波 572万円
骨粗しょう症 180万円
30代健康診査 59万円
結核予防 430万円

社会福祉協議会への補助 2782万円

社会福祉協議会で実施する諸事業を支援します。

特別保育事業補助 4433万円

保育所法外援護、延長保育補助、障害児保育補助等子育ての支援をします。

学童・預かり保育 2597万円

西児童クラブ教室等改修、学童保育運営、東西幼稚園預かり保育運営等の支援をします。

母子保健事業 1444万円

乳幼児、妊産婦を対象とした、検診・相談・支援等を行い健康の保持を図ります。

後期高齢者医療療養給付費負担 1億391万円

町は、後期高齢者の医療費の12分の1を負担します。

保育所施設型給付 3億4142万円

町内2カ所の保育所に保育の実施にかかる費用を給付します。

生活支援員の配置 2659万円

幼稚園、小中学校に支援員を配置し、落ち着いた学校生活を送れるように支援します。

東小学校施設改修 2151万円

公共下水道への接続、ブロック塀の倒壊防止措置等、衛生・安全面を整備し、教育環境を充実します。

廃棄物の収集委託 5851万円

家庭から出される可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみおよび資源ごみの分別収集運搬業務を委託します。



被災した美しい森

新年度の 主な 平成31年度は、

合併処理浄化槽設置助成
6300万円

下水道計画区域外で、合併処理浄化槽を設置する場合対象となりますが、補助要件があります。

町営住宅の撤去
2500万円

老朽化した町営住宅2棟の撤去を行います。

空調機器整備
641万円

東西幼稚園の遊戯室に空調機を整備し、快適な園生活を支援します。

水路等改修
1800万円

各分館からの要望等による農業用水路等の改修を行います。

林道の維持・整備
832万円

林道等の維持管理や改修工事を行います。

複合施設修繕改修
360万円

風呂場の修繕および室内改修工事を行います。

道路新設改良
1億7400万円

狭隘な道路の拡幅改良および老朽化した橋の改修工事を行います。

科学振興仁科財団補助
1982万円

仁科財団で行う事業に対して補助し財団の活性化を図ります。

平成31年度 当初予算

会計名	金額
一般会計	44億5251万円
国民健康保険特別	10億4235万円
介護老人保健施設特別	3138万円
介護保険特別	10億6639万円
後期高齢者医療特別	1億6135万円
水道事業会計	3億8269万円
公共下水道事業会計	8億2100万円
育英奨学資金給与特別	25万円
町営墓地特別	420万円



元気いっぱい大きく育て

質疑

▼長期ビジョンは
▼財政確保は

平成31年度当初予算に4人が質疑を行いました。

平成31年度予算総括

長期ビジョンは

仁科千議員

①31年度の

予算は痛みを伴う決断、改革と言ったが、具体的な事業内容、金額は。

②削減・見直し内容をどう精査したのか。

③昨年より当初予算が2億2000万円増えた理由は。

④町長の目指す長期ビジョンは。

町長 ①既存事業の廃止や見直しを行った。

美しい森事業653万円、松くい虫空中予防散

布事業320万円、観光

ルート事業90万円、火葬場使用料助成金98万円等減額する。

事業の見直しとして、社会福祉協議会補助金、

外国語指導助手2名をJETに切替え940万円算入見込み。町長給料3

万円・副町長・教育長各2万円減額し160万減額する。

投資的経費は、7月豪雨を教訓に1億4285

万円増額する。

る。

②必要かどうか財政状況を判断した上で、優先順位をつけ削減した。他の市町村と比べて特に手厚くしていることや高齢化の状況から判断し段階的削減、廃止をした。

関係団体に相談している。

③人件費等3223万円、物件費・維持費等1億716万円、災害復旧事業

等1億4285万円の増。現時点で必要な事業、将

来に向けて必要な事業に予算配分をしている。

④子ども達が将来に夢が持てる町、高齢者が安心して住み続けることができる町づくりを進めなければならぬ。

財政を健全にして、歳入歳出のバランスがとれたまちづくりを考えている。しっかりと足元を見ながら着実に進めていきたい。

予算は最小限のものか

佐藤議員

①予算を組む

に当たり、必要に応じ最小限のもので組んだのか。

それとも予算を抑えながら、必要に応じて補正を

考えて組んでいるのか。

財政確保は

眞野議員

①今後のこと

を含め基金についての考えは。

②長期的な視点も含め、歳入不足に対する考えや

③今後、借金はどうなるか。財政確保はどうするか。

④年間の事業は、当初予算に計上し、よほどのことが無い限り、補正予算

で上がる事自体おかしと思う。町長の考えは。

町長 ①基金の枯渇は

②年金月額6万5000円をどう考えるか。

町長 ①現時点で必要があるものを計上してい

る。補正をすることは、何も考えていない。

町長 ②高いとも安いとも、どちらとも言えない。

現実味を帯びており、今まで以上に厳しい財政運営を強いられる見込みとなる。

今後、今まで以上に、職員一人一人が危機感を持ち行政運営を行なうとともに、個々の施策ごとの必要性、優先性を精査し、スリム化し効率的、効果的事业を実施する必要がある。

②歳入面では、町税の高い収納率を維持、ふるさと納税の推進、受益者負

担の見直し、補助金の有効活用、企業誘致、企業の設備投資を働きかけていくことで自主財源の確保に努める。

歳出面では、必要性、緊急性、費用対効果を十分に考慮し抑制を務める。今後も更なる事業の見直し、廃止、縮小、凍結といった決断が必要となる。

③ 臨時対策債以外の起債は、起債残高や基金残高を考慮し、事業のスピードを調整するなどして無

理のない起債計画により事業を進める。

歳入の確保では、税収増額は望めない。企業誘致、更なる設備投資のお願い等努力する。歳出の抑制にも努める。

④ 予算編成の考え方はその通り。補正でも必要な事業はお願いしたい。年度途中で国や県の新しい補正予算メニューが出た時は、議会に相談しながら予算計上したい。

検診個人負担は疑問

仁科英議員

① 開発基金の使い方を変えたのはなぜか。

② 道路建設の維持補修費が、1割削減。内容は、

③ 教育コーディネーターのしていることは、
 県補助がなくなっても事業をするのか。
 ④ チャレンジワールドは

どうするのか。

⑤ 教育の支援員、今後はどう考えているのか。

⑥ 高齢者対策が全体として少し後退しかけている。考えは。

⑦ 65歳から70歳までの検診料が個人負担となる。疑問を感じる。答弁を。

総務課長

① 基金残が少

なくなつたため、事業費の75%を50%にして繰り入れしている。

農林建設課長 ② 維持管理する部分をいくらかでも絞り、圧縮していくべきであり、いくらか落としていく。

教育長 ③ 活動企画、運営、町内の企業、ボランティア等の調整をしている。

④ 31年度は、国立少年吉備自然の家で行う。

⑤ これ以上生活支援員を増やすことはできない。

町長

③ 当町にとり、子ども達の教育に必要な事業は単独でもやる。県の補助が無くなっても継続する。

⑤ 現場の中でしっかりと対応し、必要があれば削減する。

⑥ 後退しているとは考えていない。高齢化が進んでくるので、対策が必要。高齢者タクシーの料金の助成を厚く枠も広げた。自己負担をお願いし、何を削減してどこに充てる

手話言語条例の制定

ハードもソフトも含んだ施策か

岡村議員

① ハードもソフトも含んだ施策なのか。
 ② 役場の窓口で、手話を必要とする人が来た場合の対応は。
 ③ 現在、手話通訳者を必要とされる人は、町内に何人いるか。

健康福祉課長 ① 平成31年度は、施策推進方針を策定していく。

広報紙へ特集記事を掲載し、手話に対する理解の促進や普及を図っていく。また、講座を開催し、学ぶ機会の提供などに取り組みたい。

② 現在は筆談での対応が主になっている。
 ③ 正確には把握していない。

町長

① 人が生きていく上で、必要なことは言

語。障害のあるなしにかかわらず、町民がお互いに尊重し、理解し合っている。ノーマライゼーションのまちづくりを進めたい。

※ノーマライゼーション
 障害を持つものと、持たないものが、平等に生活する社会を実現させる考え方。

どの程度の勉強で

仁科英議員

① 手話通訳は、どの程度勉強すればできるのか。

② 受ける側として、何日勉強すれば理解できるか。

③ 財政厳しい中で、どの程度の財源が配分されるか。どのように将来的には広がっていくのか。

健康福祉課長

① どの程度勉強すればできるかは明確な答えはできない。

② 聴覚障害のある人全てが、手話が使えらるとは限らない。補聴器を使うとか、筆談という方法で会話はしていくようになる。

③ 平成31年度は、町民に手話の普及や理解を進めていきたい。

町長

① ② 個人の理解度、習熟度による。個人の努力次第だと思う。今回の条例制定によって、手話を学ぶ機会が増える。あらゆる年齢層の人に手話について理解を深め学

んで貰えたらと、考えている。

③ 財政的な制約はかかってくる。効果は金額的なものではない。推し測れないものがある。目に見えない財産として残していく必要がある。

かかる費用は、手話通訳士の人件費、広報費が発生する。経費を抑えながら、効果ある整備をしていく。

ここが賛成！

手話の町に

岡村咲津紀議員

条例制定により、多くの人に手話に関心を持ってほしい。

理念条例にとどめず、いつでもどこでも手話で意思の疎通ができる町にして欲しい。

美しい森条例の廃止

荒れ放題はよくない

仁科英議員

① 美しい森の区域は。

② 美しい森ができたのはいつか。

③ 公有地の財産管理として支障はないか。

④ ビジターセンターはどうするのか。

⑤ 今やめていいのか。他に方法がないのか。

⑥ 荒れ放題にするのは一番よくない。やめた後は。

農林建設課参事

① 笠岡市と里庄町との境、メインの林道から山側の17haが美しい森。

① 美しい森

② 平成8年9月オープン。平成21年4月1日に譲渡された。

③ 町有地としては、施設管理はしない。ビジターセンターへ向けてのカラー舗装については、管理する。

④ 将来的には解体の方向で考えている。定期的な確認に行く。

⑤ 狩猟許可を出して、その駆除に努める。

⑥ 条例を廃止することによって、公有地・民地であろうと、勝手に

② 平成8年9月オープン。平成21年4月1日に譲渡された。

③ 町有地としては、施設管理はしない。ビジターセンターへ向けてのカラー舗装については、管理する。

④ 将来的には解体の方向で考えている。定期的な確認に行く。

⑤ 狩猟許可を出して、その駆除に努める。

⑥ 条例を廃止することによって、公有地・民地であろうと、勝手に

に入つて木を切ったり火をつけたりすることは、おかしいこと。

特に大きな問題が出るとは考えていない。

⑤ これ以上経費を投入することは、無駄になるのではないかと、考えている。

美しい森条例を廃止して、必要最低限の管理だけにとどめていきたい。

⑥ 廃止の大きな理由は、イノシシの被害。人的被害の危険性は払拭できない。

「わな」を仕掛けていくところを、町民が自由に歩くのは危険。

費用をかけずにできる方法を

高田議員

① イノシシを駆除する方法でなんとか

できなかつたのか。

② 多額のお金をかけたも

のを何でやめる方向でしか考えられないのか。

③ 自然の公園にして、費用をかけずにできる方法を考えたらどうか。

農林建設課参事 ①鳥獣

保護区になっており、駆除については、すぐにできないと判断した。安全面で十分なことができないとの判断で、このような決断に至った。

が出せるので、猟友会にお願いする。お金をかけない運営も検討したが、いろいろな面で管理費用がかかり、このような決断をした。

水道、電気、ビクターセンターの管理、維持費に多額の費用が発生している。費用対効果を考え、管理しないほうが良いと考えた。

特別職職員の給与に関する条例

改正額の根拠は

仁科英磨議員

① 改正する額の根拠は。
② 年間の全員での節減額は。
③ 提案する側の考えは。
④ 時限立法にできなかったことを、もう一度考え直すことは。
⑤ 日割り計算を今回入れるということだが、特別職だけ今までなっていない

かった。遅過ぎるが。

⑥ 今後の考え方は条例、法令遵守なのか、論理を優先するのか。

総務課長 ① 近隣市町の状況を参考に確定した。

② 約157万円の減額となる見込み。

⑤ 給与担当者が事務手続上、条例どおり支給した。

町長 ③ 里庄町として

町長 ② ビクターセンターの使用料も、年間30万円程度で利用が少ない。

は、固定的に下げているやり方を選択した。額の多少は、町民が判断をしてくれればいい。

④ 厳しい財政状況を鑑みて、定額方式で削減をした。

⑥ 規定をしつかりしたものに、法令に合わせ手続を進めていくのが正当な考え方である。

**ここが反対！
松林は残せ**

仁科英磨議員

あの美しい松林は何としても残してほしい。
人が入れば、有害鳥獣だって遠慮する。人が来なかったら、ますます悪い方向に向かっていく。拙速な決断は避けるべき。

**ここが反対！
活用方法を探せ**

高田卓司議員

条例を残しながらうまくあの公園を活用する方法を探すべき。
費用対効果を考えながら、あれだけの森林公園を維持管理する方法はあると考えられるので、条例を廃止するべきでない。

**ここが反対！
遊歩道は残せないのか**

佐藤耕三議員

遊歩道等は、イノシン等の管理をしながら何とか残していけないものか。
7月豪雨から、1年も経っていない。今すぐの廃止については反対。

**ここが賛成！
緊迫した財政で廃止すべき**

岡本雅道議員

1000万円前後の費用で、利用者は3百数十人。緊迫した町財政で美しい森は廃止すべき。
昨年の豪雨等による道路の崩壊と有害鳥獣の出没等により、やむなく廃止となるが、ちょうど良い機会。

副町長の選任

職務分担は

仁科英議員 ①これから
の町長・副町長・総務課
長以下、各課長の職務の
分担をどう考えているの
か。

②県や国とのパイプ役を
やってほしいが。

町長 ①副町長は町長
に何かあつたときの危機
回避、リスクヘッジとい
う意味でも必要。

地方自治法、里庄町事
務決定規程にある専決事
項は当然である以上に、
私に対しての意見、提言
を求めたい。さらに、目
の届かないところで職員
の育成にも力を注いでも
らいたい。

町村では積めない経験
も県で積んでいると思う
ので、そういうものを町
政に生かしてもらいたい。

② 思いは私も同じ。県か
ら来てもらうのでその役
割は十分果たしてもらい
たい、と強く考えている。

人事

副町長の選任



岡山市北区西古松

内田 二三雄氏

町条例

制定

里庄町手話言語条例の制定

手話が言語であること
を広く周知し、手話を必
要とする人が、日常生活
において安心して手話が
用いることができる、地
域社会を実現する必要が
あります。手話を必要と
する人があらゆる機会に
社会参加でき、全ての町
民と共生することができ
る地域社会の実現に寄与
します。

里庄町職員の勤務時間、 休日及び休暇等に関する 条例

長時間労働の是正措置
として、超過勤務命令の
上限時間を設定するため
に必要な改正を行いました。

里庄町水道事業給水条 例

上下水道の技術士法で
二次試験の科目減少に伴
い、法に準じた有資格者
名に変更となります。

廃止

里庄美しい森条例

今年の7月豪雨による
アクセス道路の崩落に伴
う利用中止期間中に、多
目的広場周辺のイノシシ
被害が発生し、施設の復
旧に多大な費用・時間を
要すること、また利用者
がイノシシと遭遇する危
険性があるため、美しい
森の閉鎖を決め、これに
伴い同条例を廃止しまし
た。

特別職の職員の給与に関 する条例

町長、副町長、教育長
の給与を減額します。

改正

里庄町職員の給与に関 する条例

等級別基準職務表の基
準職務の内容をより具体
的な表現に変更しました。

町長 70万円（3万円減）
副町長 62万円（2万円減）

教育長 58万円（2万円減）

平成30年度

補正

▼カレンダーは要らないのか
▼700万円、繰越し理由は

一般会計で2人が質疑を行いました。

質疑

カレンダーは要らないのか

仁科英議員

①健康カレンダー59万円の減額補正

はどういう意味か

②カレンダーとして全く要らないのか。

健康福祉課長 ①この時期で、平成31年度のカレンダーを作成する。

アンケートの結果、特に必要ないと多数の回答があった。費用対効果が踏まえ、作成を廃止する。

②記入スペースが狭く不便。カレンダーとしては望ましくない。

農林建設課長 ①7月豪雨に伴い、発注業者の現地立ち入りが遅れた。警察や県と協議調整に予想外の日数を要した。ほぼ測量は終わり、細かい調整を警察としている。

700万円の繰り越し理由は

高田議員

①駅前広場等整備事業700万円の繰

越し理由は。

②国からいくら出て、町

の負担はいくらか。

③費用対効果は。

④地方道路等整備事業債5000万円減額の原因は。

⑤固定資産税980万円と自動車重量、譲与税の減額理由は。

総務課長

④浜中パイパス事業で国の交付金配分比率が増え、町の負担金が減った。

⑤県からの通知で額が決定したため。

町民課参事

⑤当初想定していた焼却資産の税が歳入されなくなったことから減額した。

②設計中で、概算は出ていない。

③便利が悪く、駅の前を整備しないと駅の構内の改修につながらない。危険な状態である。

ここが反対！

メリット、余裕はない

高田卓司議員

国の補助をもらうために700万円繰り越して、次年度で300万円を足し、1000万円設計をしようという。

国の補助金をもらったとしても、数億円の持ち出し。駅前開発を数億円もかけてやるメリット、余裕はない。

3月補正の結果

会計名	補正後の金額	(補正額)
一般会計(第6号)	44億5646万円	(△5845万円)
国民健康保険特別	12億5571万円	(△8004万円)
介護保険特別	10億4264万円	(16万円)
後期高齢者医療特別	1億6347万円	(270万円)
町営墓地特別会計	429万円	(△46万円)

補正・当初予算の審査

予算決算委員会では、平成30年度補正予算6議案と平成31年度当初予算9議案を関係当局の説明を求め慎重に審査しました。

平成30年度補正予算は、一般会計予算が賛成多数で、その他の議案は、すべて全会一致で原案可決となりました。

平成31年度当初予算は、一般会計予算内の「里庄駅前広場測量設計業務」の300万円の反対により賛成少数で否決となりました。その他8議案の当初予算は全会一致で原案可決となりました。



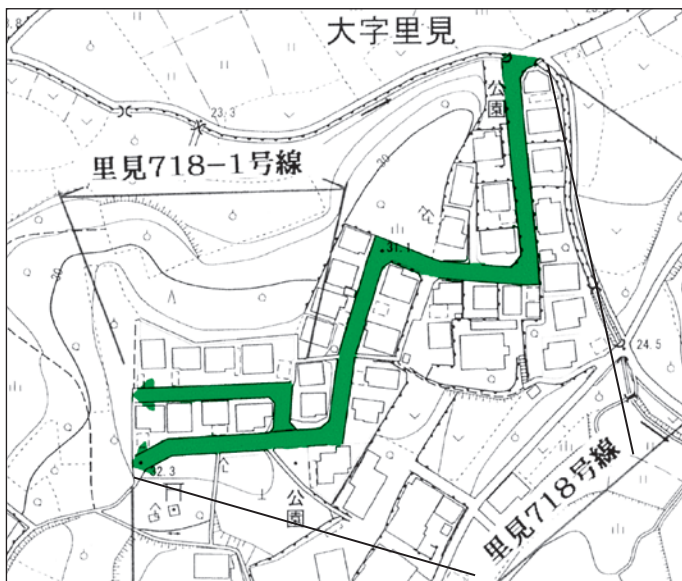
里庄駅前

町道路線の認定

町道路線の認定2議案を審査するため、3月6日に建設福祉委員会を開催し、現地調査後、農林建設課の担当者から説明を受け、慎重に審査を行いました。

本村地区のおおぞら団地内の開発道路は、所有権登記の書類が整わなかったことから20年間放置されていたもの。傷んだ箇所は修繕について意見がありました。が、おおむね問題はないとの判断で、全会一致で認定しました。

また、大原東地区の新しい分譲団地内の町道認定は、撤回されました。



町道里見718号線と718-1号線

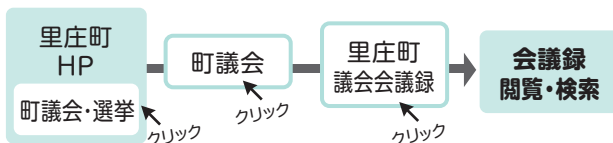
傍聴に来ませんか

本会議は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。自分の選んだ議員の活動や町の方針、考えを知ることができる場です。

詳しくは、議会事務局までお問合せください。

議会会議録は里庄町のホームページからご覧になれます。

<http://www.gijiroku.net/town.satoshio/>



花見を楽しんでいます

一 請 願

「後期高齢者医療の窓口負担の見直しにあたり、原則1割負担の継続を求める」請願書は賛成少数で不採択

審査結果(総務文教委員会)

付託された請願書は、3月6日の委員会で、財源はどうするのか。所得に応じて負担割合を上げることとは仕方ないこと。などの意見から賛成少数のため不採択となりました。

本会議採決結果

3月15日の本会議において、賛成少数で不採択となりました。

一 陳 情

種子法廃止に伴い岡山県の取り組みが後退しないように岡山県条例の制定を求める要請書は引き続き、継続審査

審査結果(建設福祉委員会)

付託された陳情書は、3月6日の委員会で、さらに時間をかけて内容を調査研究し、検討したいとのことから、全会一致で継続審査となりました。

本会議採決結果

3月15日の本会議において、全会一致で継続審査となりました。

全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情書は不採択

審査結果(総務文教委員会)

付託された請願書は、3月6日の委員会で、国の問題であり、町村議会として議論すべきものではない。などの意見から賛成少数で不採択となりました。

本会議採決結果

3月15日の本会議において、賛成少数で不採択となりました。



陳情

陳情

奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書は不採択

審査結果(総務文教委員会)

付託された陳情書は、3月6日の委員会で、町に必要ななく、議論の必要もない。などの意見から賛成少数で不採択となりました。

本会議採決結果

3月15日の本会議において、賛成少数で不採択となりました。

消費税増税10%引き上げ中止を求める意見書提出の陳情書は不採択

審査結果(総務文教委員会)

付託された陳情書は、3月6日の委員会で、国が決めていることで、地方議会が議論することではない。などの意見から賛成少数で不採択となりました。

本会議採決結果

3月15日の本会議において、賛成少数で不採択となりました。

里庄町議会議員選挙

選挙結果



任期満了にともなう里庄町議会議員選挙は4月21日(日)に投票が行われました。結果は次のとおりです。

当選	仁科千鶴子氏	790票
当選	高田卓司氏	636票
当選	岡村咲津紀氏	535票
当選	平野敏弘氏	523票
当選	小野光三氏	489票
当選	藤井典幸氏	452票
当選	眞野博文氏	390票
当選	仁科英磨氏	337票
当選	小野光章氏	327票
当選	佐藤耕三氏	315票
次点	田辺博樹氏	242票



賛否表

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

議案名		議員名								議決結果	
		高田卓司	岡本雅道	岡村咲津紀	小野光三	眞野博文	仁科英麿	小野光章	仁科千鶴子		佐藤耕三
議案第 1号	里庄町手話言語条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 2号	里庄町職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 3号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 4号	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 5号	里庄町職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 6号	里庄町水道事業給水条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 7号	里庄美しい森条例の廃止	×	○	○	○	○	×	○	○	×	可決
議案第 8号	平成30年度里庄町一般会計補正予算(第6号)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 9号	平成30年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第10号	平成30年度里庄町介護老人保健施設特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第11号	平成30年度里庄町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第12号	平成30年度里庄町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第13号	平成30年度里庄町営墓地特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第14号	平成31年度里庄町一般会計予算 修正案 修正部分を 除く原案	○	○	○	×	×	○	×	×	○	修正可決
		○	○	○	○	×	○	×	×	○	
議案第15号	平成31年度里庄町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第16号	平成31年度里庄町介護老人保健施設特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第17号	平成31年度里庄町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第18号	平成31年度里庄町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第19号	平成31年度里庄町育英奨学資金給与特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第20号	平成31年度里庄町営墓地特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第21号	平成31年度里庄町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第22号	平成31年度里庄町公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第23号	里庄町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第24号	里庄町道路線の認定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	撤回
平成30年上程 陳情第 3号	種子法廃止に伴い岡山県の取り組みが後退しないように岡山県条例の制定を求める要請書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査
請願第 1号	「後期高齢者医療の窓口負担の見直しにあたり、原則1割負担の継続を求める」請願書	×	×	×	×	×	×	×	×	○	不採択
陳情第 1号	全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	○	不採択
陳情第 2号	奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
陳情第 3号	消費税増税10%引き上げ中止を求める意見書提出の陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	○	不採択
議案第25号	副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

(注)議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)

5人の議員が登壇して質問!

岡本 雅道 議員……………17P

- ① 庁舎前の駐車場拡大
- ② 町長の将来展望を問う
- ③ 軽自動車税の減税

仁科 英磨 議員……………18P

- ① 昨年の7月豪雨災害からの教訓—
新防災情報システムの導入、浸水対策等
- ② 小中学校におけるキャリア教育の充実
- ③ その他

高田 卓司 議員……………19P

- ① 殿迫地区(池田)の浸水被害
- ② 入札指名

佐藤 耕三 議員……………20P

- ① 不法投棄の防止策
- ② 交通弱者のための道路を
- ③ 今後の分館のありかた

仁科 千鶴子 議員……………21P

- ① 保育園・幼稚園無償化

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。



つばきの丘運動公園

3月定例会

一般質問

町政を問う

岡本 雅道 議員



庁舎前駐車場の拡大を

町長／駐車場の必要性は感じている

問

産業文化祭の会場として狭い。駐車場が狭すぎて行事が重なる。駐車できない。

旧庁舎跡地の公園も利用が無く必要性を感じない。時計台、ソテツ、女性の裸像がある円形の花壇も邪魔を感じても必要性は全く感じない。近年裸像は置かないようにしよう、撤去しようというこのご時世である。今すぐでなくてもいい、撤去して駐車枠を広げるべきだ。

町長

駐車場の確保の必要性は感じている。休日には公園として使われており、緑があると庁舎全体に対しての落ち着きも感じられる。また、円形の部分は新しい庁舎ができた時の記念としてのスペースで重要なモニュメントになっていると考える。今すぐでなくてもいい。将来考えるときに、提案、大変貴重な意見として、頭の

中に置いておきたいと思う。

グリーンテクノと県道を結ぶロータリーを

農林建設課長／現実的に難しい

問

朝の通学時間帯、2部の消防機庫前の交差点ではグリーンテクノへ向かう車が毎日20台ぐらい渋滞している。いつ事故が起きてもおかしくない状態。この中を子ども達が通学しており、非常に危険。グリーンテクノと県道をロータリーで結ぶ計画を望むが。

農林建設課長 国道と県道を結ぶその道路は確かに効果的だと考える。現在、浜中バイパスのJRの下をくぐる工事をしており、費用的にも現実的には難しい。玉笠道路ができることで流れが変わってくると思う。そ

れに合わせ今後どこに南北の軸を通したらいいかということも検討していく必要があると考える。

軽自動車税の減税を

町長／難しい

問

都市では交通網が発達している。里庄では鉄道以外に公共交通機関はない。バスの運行も道路が狭くて無理。

岡山市は路面電車もバスもあり、比べて格差がありすぎる。しかし、軽自動車税は東京も岡山市も里庄町も一緒。こんな不平等なことはない。自動

車税減税は全国どこもやっていない。やったら目玉。検討してほしい。

町長

軽自動車税の減税の提案だが、貴重な一般財源であり減税するのは難しいと考える。



混雑する交差点(西小北)

県のポンプを借りてでも、排水策を至急考えるべき

町長／浅口市、倉敷市と協力して対応したい



仁科 英磨 議員

問 昨年7月の豪雨災害について、続きを問う。

平成31年と32年だけ、70%交付税算入される緊急自然災害防止対策事業債が認められた。

このチャンスに、実行しては。

① 災害義援金は、いくらをどう配分したか。県の基準どおりではなく、少しは配分の仕方をかえ、地域の実態に合わせて色をつけたらどうか。

⑤ 湯の池の余水吐けから出る水が、農業用水利の水路を通って殿迫の方に流れていったことへの対処方法は。

② 新しい防災情報システムの導入の検討状況は。

⑥ 殿迫の池田や大所の被害状況は。

③ 高岡、屋中の人は天草公園の浅口市の避難施設に入れてもらうことについて、浅口市との協議は、その後どう進捗したか。

④ 天草公園横水路の氾濫対策についての、その後浅口市との協議は。

京田川から里見川に抜くには、水門を造り、ポンプアップすればよい。

そこに住宅が建ってしまった。これを何とかするのは町の責任。

災害がよく知らないから、災害が起きたら直ぐ写真を撮ってこうだと言って

行かなければならないし、町はこうしたいと言ってから、里見川河川整備計画がきちっとできていく。また、その前にも雨は降るから、緊急な対策が必

要。

県民局のポンプを借りても、いざという時の排水策を至急考えるべき。

① 本町独自でも、ふるさとチョイスで360万円余り、個人や団体からも含めると460万円余りの寄附金があった。

また、180万円余りの見舞金もあり、全てを災害復旧費に充てた。

② まずは分館長への連絡体制の確立を目指し、情

③ 12月下旬に浅口市と意見交換し、多くの課題があることを認識した。

④ 被災状況は、浅口市にも連絡。この地域で一番効果のある対策を検討、研究中。内水排除は町でするものだが、川は連続しているので、県や下流域の市町とも話す必要がある。

⑤ 水利委員とも相談しながら、対応を検討したい。水田は、最大約90センチ、30センチ以上が約64時間湛水した。道路は最大50センチが冠水し、宅地は最大約30センチが浸水した。ポンプを借りるにしても、どこに置か、流しても下流域に問題ないか等、調整が必要。また、今、県が里見川の整備計画を策定中であり、全体でどこが一番問題があるのかが出てからになると思う。

総務課長

① 本町独自でも、ふるさとチョイスで360万円余り、個人や団体からも含めると460万円余りの寄附金があった。

町長

① 今回は初めてのことで、県の基準どおりが一番早く、公平な配分と判断した。今後は、しっかり考える必要があると思う。

⑥ 必要な情報は、適宜県に全て上げている。県にしつかり里見川整備計画の策定を要請しながら、浅口市、倉敷市と協力して対応したい。

農林建設課長

④ 被災状況は、浅口市にも連絡。この地域で一番効果のある対策を検討、研究中。内水排除は町でするものだが、川は連続している

その他の質問
Q 小中学校の英語指導助手を国からの派遣に切り替える手続きは、どのように進んでいるか。いくらの節約になるか。

A 4月から2名の派遣を要請しており、31年度は、1027万円の節約になる。

Q 現行のタクシー券補助制度を模様替えると聞いた。その内容は。どんなに改正しても限界がある。デイマンド型200円乗り合いタクシーについて、町長はどう考えるか。

A ニーズ、費用などが非常に不透明。まずは高齢者の支援を重点的に行いたい。

高田 卓司 議員



浸水被害の対策は

町長／近隣市町と協力し申し入れをする

問

昨年7月の豪雨では、今までにない雨により小田川の決壊など、大きな災害が発生した。

里庄町においても多くの災害が発生し、特に殿迫地区・高岡地区で里見川の増水により住宅の浸水被害が発生した。

この原因のまず一点目として、里見川の下流の水門にポンプが無いことが問題。

満潮時に川の水が海に流れないため、鴨方川との合流点で里見川の水が合流できないことが里見川の水位が上がる原因。
 ① 近隣市町みんで、県へ強力にアピールしてポンプ設置のお願いに行く考えはあるか。
 ② 県の計画を見てからでは遅いと思う。
 計画の中に計画に入れるべきではないか。
 ③ 合流の仕方が良くない川が数多くある。

これらの改良の必要があるが近隣市町と県へ要望

してはどうか。

④ 殿迫より東を浚渫をすれば水位が下がる。そして殿迫の合流点の角度が良くない。

水路に並行に改良すれば、水位は相当下がると考えるがどうか。

農林建設課長

① 県が河川整備計画を策定中と

聞いているので計画の中で問題をはつきりさせるべきではないかと考える。

③ 町内の排水が出やすい形にするよう強くお願いしている。

④ 問題のある所を30年度で浚渫をしたが、その次に問題があるようなら考えたい。

町長

① ② 近隣市町と協力をして申し

入れをしていきたい。
 ③ 合流点での河川の形状変更など、可能な対策を要望していきたいと考える。

④ 合流点の改良は言われる通りである。

工法等について検討し、金額的なこともあるので検討する。

工事の指名入札の決め方は

総務課長／規定・要綱に基づいて

行っている

問

工事の入札は、工事の大きさ、内容によっていろいろな方法があると思う。

① ほとんど指名入札で発注しているが、どのような基準、考えで行っているのか。
 ② 行政には地元企業の育成という責任がある。今のやり方では地元業者は育たない。
 ③ この自治体も、いろいろな団体と災害応援協定を結んでいる。指名に当たっては災害協定を結んでいる業者の中から指名するべきではないか。
 ④ 協定を結んでない特定

な業者が時々入るが、特別なことがあるのか。
 ⑤ 協定を結んでいる業者は何十社もあるが、あえて協定を結んでない特定な業者が5、6社の指名に入るのは何かあるのか。
 ⑥ 協定を結んでいる業者に能力のない業者はいない。なぜ協定を結んでいない業者から指名しないのか。

② 協定を結んでいない業者は育成している。なぜ協定を結んでいない業者から指名しないのか。

総務課長

① 入札参加資格を有している者

の中から能力や実績などを考慮して行っている。
 ② 地元業者の育成ということとは認識している。
 ③ 入札参加資格を有する

事業者の実績や技術力を総合的に見極めて選定することが最も重要と考えている。

その判断材料の一つとして災害応援協定の締結をしているなど地域貢献度や地域要件などを加味して実施していくべきと考えている。

④ 工事の内容、これまでの実績、手持ちの工事量なども判断材料にしている。経営内容、施工能力など総合的に見極めており、状況に応じた指名をしている。
 ⑤ 下水道の下請をしているり里庄町に実績のある業者を選定している。

町長

⑥ 災害時応援協定を結んでいる

というのは、当然重要な選定要件にはなるが、公平性や競争性、経済性を担保するということが重要であると考えている。

不法投棄に対し

町民課長／悪化すれば

監視カメラも考える

問

①野球場の手前の不法投棄に対し看板だけでは効果が薄い。地元からは防犯カメラや柵の要望がある。どうするのか。

②美しい森を廃止することで不法投棄も増えると考えられるが、対策は。

あれば対応していきたい。

農林建設課長

②林道整備の関係で美しい森へ上がる場合、状況を確認していきたい。

町民課長

①現状を町民に知ってもらい、地域の目で監視し、町民・行政、一体で不法投棄撲滅を図ることが重要と考える。

現在は考えていないが、状況が悪化すれば監視カメラ等の措置も考える。②進入禁止措置を続けるので、不法投棄にはつながらないと考えているが、



横断歩道が欲しい駅南の国道交差点

横断歩道をつけることは

農林建設課長／検討したうえで要望していきたい



佐藤 耕三 議員

問

①子どもが川へ落ちたと聞いた。河川への転落防止はできないか。

②駅前から干瓜方面へ国道を横切る横断歩道はない。手押し車を押す高齢者のために、横断歩道をつけることはできないか。

農林建設課長

①基本的に高さの箇所には柵の設置を進めたい。

②駅から南側へ渡るためには横断歩道を設置するしか、横断するところがないと考える。川南干瓜線の整備とあわせ、検討したうえで要望していきたいと考えている。

問

①単独で活動できない分館、高齢化が進む分館では何らかの支障が出るのでは。高齢化が進み10年、20年先、今のままでやっていけるのか。

②分館は不要論だという意見をどう考えるか。

企画商工課長

①高齢者でも参加できる活動等、地域で話し合い考えることが必要と思う。

単一分館でできないことは他の分館と共同して参加できることなど町と分館で考える。

自助、共助、公助という取り組みを里庄町という団体の中で進めていけば、解決は徐々に進んでいくと考えている。

②少子・高齢化が進み、ライフスタイルも変化していく中で、全ての課題を行政は解決できない。町民全体に自助、共助の意識を高め愛着を感じながら、コミュニティの活性化によってまちづくりを推進していくためにも、分館は必要なものと考えている。

今のままやっていけるか

企画商工課長／解決は徐々に進む

仁科千鶴子 議員



幼稚園の給食費、無料にすべき

教育長／考えていない

問

幼児教育・保育の無償化が20

- 19年10月からスタートする。消費税10%引き上げによる税収を充て、2兆円が幼児教育の無償化の財源となる予定。
- 1 無償化制度内容と対象は。
 - 2 第2子の無料は、今まで通り変わらないのか。
 - 3 保育園は、食事代(副食)が無料。幼稚園は給食費が個人負担。その上預かり保育も負担する。不平等さをどう考えるか。給食費、預かり保育を無料にすべきでは。
 - 4 平成31年度幼稚園、保育園の利用予定は。
 - 5 待機児童、人材不足、施設面積不足等問題が出てくる。
 - 6 保育園・幼稚園の特徴は。

町民 課長

1 3歳から5歳までの全ての子ども及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どものついて費用を無償化する。

- 2 町では2人目無料は、今年度も継続する。無償化以外の国の基準額が示された時点で、今後どういった保育料の設定が、子育て支援につながるか検討・見直すこともある。
- 4 かすみ保育園希望の4歳児7人待機の状況。

	5 歳	4 歳	合計
かすみ保育園	37人	49人	86人
里見保育園	19人	26人	45人
西幼稚園	14人	26人	40人
東幼稚園	27人	12人	39人

5 保護者の状況を数値化し、断る人を決定する。今回30件ほど断りの電話

をした。家庭訪問して状況を説明し、理解してもらった。

休職中の保育士がいると情報があり、4月から勤務してもらうので、待機が6人減った。情報収集をしながら待機児童の解消に努めたい。

教委事務局長

3 幼稚園は、平成22年から保育料は無料、給食費1カ月3500円、今後このまましていきたい。国としては、給食費無償化等は現時点では考えていない。

預かり保育料金は、1カ月8000円の負担。国の示す基準や対象要件など研究し確認していく。

教育長

3 給食費無料は考えていない。

6 保育園も幼稚園も目指す子どもの姿は同じ。同じ力を持って小学校に入ってほしいと改訂があった。町では、英語の勉強のために外国人指導助手を保育園・幼稚園に派遣

している。中身、やり方はそれぞれ工夫している。

町長 子育て世代から高齢者まで、公平に税の配分をしていく。国の動向をよく見ながら、

ら、国の支援があれば一歩踏み込んで考える。現時点では、保護者が負担すべきのは、負担してもらいたい。



おいしい給食(かすみ保育園)

地域の皆さんに見守られ

津江子供会

津江子供会は、幼稚園

(保育園) 小学生で現在

7世帯12名になりました。

小学生は5世帯8名で

毎日元気に上級生が下級

生に声かけあつて毎日登

校しています。

夏には、ラジオ体操や

草とりをみんな頑張つて

行なっています。

子供会行事では、今ま

でパンづくりに行ったり、

クリスマス会をしたり、

毎年色々なことを行い楽

しく交流しています。

子どもが少ない地域で

はありますが、地域の皆

さまに暖かく見守られな

がら日々過ごしています。

これからも、みんな仲

良く頑張っていこうと思

います。

今後も続けて子ども達

の成長を暖かく見守つて

くださいますよう、よろ

しくおねがいいたします。



《第96号》

令和元年5月1日 発行

発行／岡山県 里庄町議会

〒719-0398

岡山県浅口郡里庄町

TEL(0865)64-7217

FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satoshio.lg.jp

●あしがき

5月の爽やかな季節となりました。「令和」最初の「議会だより」となります。「令和」の時代が平和で穏やかであることを願い、編集を進めて参りました。

今後共、議会をしっかり見守ってください。

(小野)

編集委員

委員長：眞野博文 副委員長：仁科千鶴子 委員：小野光章 委員：佐藤耕三

